

化学基礎

【はじめに】

自然界は「物質」によって形成されています。空気も土も石も、細胞も薬品もそして人の体も「物質」からできています。化学基礎では「物質の性質とその変化」を扱います。「もの」を作っている成分（これを「物質」といいます）がほんの数種類の原子でできている不思議さと、その原子が組み換わることで、色や状態や性質が変わってゆく化学変化の様子を学んでいきましょう。

【授業を受けるにあたって】

予習：授業で初めて聴く（耳にする）用語は、聴き取ることが難しいでしょう。読むだけでいいので、授業の前に教科書を読んでおいてください。音読すると尚よいです。さらに、この部分はどういうことか、内容を重点的に理解しようという姿勢で授業を受けてください。

復習：まず、知識を増やし、次にそれをつなげる原理や法則を理解しましょう。知識も理解も、反復することで確かなものになります。できるだけ毎時間、そしてまとまり（単元）ごとに復習しましょう。

授業を受けるにあたってノートを用意してください。授業でプリントを配ることがありますが、そのプリントはノートに貼って整理して行ってください。

【観点別評価の方法】

○知識・技能の習得（体系化、汎用性）

主に定期考査、実験のレポートの内容、小テストによって判断します。

○思考力・判断力・表現力の育成（思考力、判断力、表現力）

主に定期テスト、実験のレポートの内容、教科書の内容をふまえた受け答え、教師の質問に対する応答等によって判断します。

○主体的に学習に取り組む態度（実践力、協働力）

主に定期テスト、授業態度、課題への取組、教師の質問に対する応答、実験・実習のレポート内容、出席状況等によって判断します。

【教材】

教科書：「化学基礎」 啓林館

副教材：「リードα化学基礎＋化学」 数研出版

「サイエンスビュー化学総合資料」 実教出版